

Pain is inevitable Suffering is optional

### 3 邪馬台国への道

#### 1 東アジア情勢

→中国皇帝が、朝貢してきた周辺諸国の王に称号などを与えること(冊封)によって形成される国際秩序のこと。弥生時代の王も中国皇帝に使者を派遣していた。

#### 論点

① 『**漢書**』**地理志**』→前1世紀の日本 ●史料

① 倭は百余国の小国に分立

② 朝鮮半島の\_\_\_\_\_へ定期的に遣使

#### 史料研究 1

キーワードは、漢書が**楽浪**、魏志が**帯方**!

紀元前\_\_\_\_\_年=\_\_\_\_\_帝が**楽浪郡**設置 [平壤(ピョンヤン)付近]

Q1.02 史料の出典は何か(新潟大)

Q2.この史料は( )世紀の日本の様子を述べたものか(関西大)

Q3.史料の著者は誰か(上智)

Q4.下線部①を設置した中国王朝名とその皇帝は誰か(早稲田)

それ① →  
り、分れて \_\_\_\_\_ 海中に \_\_\_\_\_  
を\_\_\_\_\_と\_\_\_\_\_なる。\_\_\_\_\_時あ  
も\_\_\_\_\_り、\_\_\_\_\_者( ) \_\_\_\_\_

② 『**後漢書**』**東夷伝** 1~2世紀の日本 著者→\_\_\_\_\_ ●史料

① \_\_\_\_\_年…\_\_\_\_\_が後漢の\_\_\_\_\_から\_\_\_\_\_を授かる  
印綬=\_\_\_\_\_年→福岡県志賀島から発見  
( )の印

② \_\_\_\_\_年…倭国王、帥升が\_\_\_\_\_160人を後漢に献上

#### 史料研究 2

Q1.この史料の出典は( )である。北大

Q2.建武中元二年は、西暦( )年である。中央

Q3.「印綬」の「綬」とは、( )のことである。同志社

Q4.「安帝の永初元年」は西暦( )年である。早稲田

Q5.「桓靈の間」とは( )世紀(前半・後半)のことである。上智



2世紀後半…当時の様子を示すものとして、巨大な環濠集落である佐賀県\_\_\_\_\_があげられる。

『東夷伝』  
建武中元二年、倭の\_\_\_\_\_、貢を奉じて朝賀す。使人みずから\_\_\_\_\_と称す。倭国の極南界なり。\_\_\_\_\_賜うに\_\_\_\_\_をもつてす。安帝の永初元年、倭の国王\_\_\_\_\_ら、\_\_\_\_\_160人を献上し、請見を願う。\_\_\_\_\_、倭国大いに乱れ、更々相攻伐して歴年主なし。

③ 『\_\_\_\_\_』\_\_\_\_\_→著者：晋の\_\_\_\_\_ 「三国志」の一部

① \_\_\_\_\_を中心に30余国の連合体

② 女王\_\_\_\_\_→**鬼道**(呪術)・男弟が補佐シャーマンの君主結婚していない、巫女だから

③ 景初3(239)年…\_\_\_\_\_を通じ→魏の都\_\_\_\_\_へ遣使

↳「\_\_\_\_\_」の称号、金印紫綬。

④ 卑弥呼の死→国中混乱→卑弥呼の宗女\_\_\_\_\_が王へ

3世紀、日本には邪馬台国を中心とする30あまりの小国連合が形成されていた。

#### 受験の極意 1

南北朝時代の晋の\_\_\_\_\_が編纂。成立が後漢書より古い。邪馬台国論争で位置が取りざたされているが、入試には位置問題はそれほど出ない。対立する国→\_\_\_\_\_国、一大率を置いた国→\_\_\_\_\_国など周辺の国こそ注意。魏の都→\_\_\_\_\_・親魏倭王の称号を卑弥呼に与えた皇帝→\_\_\_\_\_らを記憶したうえで史料中の穴埋めを確認しよう。

**一支国**…現在の隠岐、弥生時代の原の辻遺跡は「一支国」の中心にあたる。

**伊都国**…外交の拠点ともなった重要な国。「一大率」もこの国に常駐した。

**大倭**…国々の「市」に置かれた監督官の名称。

**一大率**…「女王国(邪馬台国)より以北」を監視するために置かれた官名。

**狗奴国**…邪馬台国と戦争状態にあった男王の支配する国。卑弥呼はその戦争の状態を魏に報告し、激励されている。

『倭人伝』  
倭人は\_\_\_\_\_の東南大海の中に在り、山島に依りて国邑を為す。旧百余国、漢の時朝見する者有り。今使訳通ずる所より倭に至るには海岸に循つて水行し、\_\_\_\_\_をへて、あるいは南しあるいは東し、その北岸\_\_\_\_\_に至る七千余里。…南、一海を度る千余里、\_\_\_\_\_に至る。女王の都する所なり。

「其の国、本また男子を以て王となし、住まること七、八十年。倭国乱れ、相攻伐すること年を歴たり。乃ち共に**一女子**を立てて王と為す。名を\_\_\_\_\_といふ。[ ]に事え、能く衆を惑はず。年已に長大なるも、夫婦なく、[ ]あり、佐けて国を治む…」  
「景初二年六月、倭の女王、大夫[ ]等を遣はし、郡に詣り、天子に詣りて朝献せむことを求む。…詔書して倭の女王に報じて曰く、「…今汝を以て[ ]となし、**金印紫綬**を仮し、装封して帯方の太守に付し仮授せしむ。…」

## 受験の極意 2

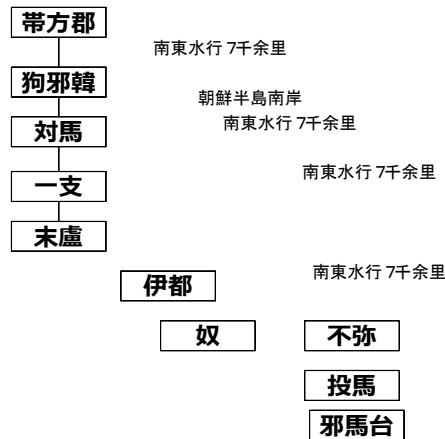
邪馬台国が資料問題で出たとき、「倭」は最も問われる用語である。奈良県桜井市にある**纏向遺跡**は、関東から九州にまでの土器が集まる都市的大規模集落で、卑弥呼の墓ではないかとの説もある\_\_\_\_\_古墳にも近いことから、ここが邪馬台国の中心地ではないかとの説もある。官名\_\_\_\_\_と\_\_\_\_\_が出る。租税制度があり、身分の差があったことも要注意です。

老与…老与は、**魏**に代わった**晋**の都\_\_\_\_\_に、266年に使者を送ったといわれるが肝心。

### ■邪馬台国論争

**名称** = 倭人伝では「邪馬壹（老）国」 萱（台）の誤字とみるのが通説

**位置** ➡次ページ図参照



**畿内説** ➡3世紀すでに畿内政権の勢力が西日本に及ぶ

**九州説** ➡3世紀、まだ畿内と九州は別勢力。連合の一国、伊都国に一大率という機関？を置いて諸国を監察していた。

## ㊦史料研究

…租税を徴収し、それを納める倉庫がある。国々に市があってそこで交易を行い、大倭（官名）にこれを監督させている。

**魏志倭人伝**

其の法を犯すや軽き者はその妻子を没し、重き者はその門戸及び宗族を滅す。尊卑各々差序あり。租賦を収むるに邸閭あり。国々に有無を交易し、ををして之を監せしむ。

女王国より以北には、特にを置き、諸国を檢察せしむ。常に伊都国に治す。諸国之を畏懼す。と道路に相逢へば、逡巡して草に入り、辞を伝え事を説くには、あるいは躑りあるいは跪き、両手地に抛り之が恭敬をなす。

女王国から北には、特に一大率（官名）を置き、諸国を檢察させている。諸国はこれを畏れはばかっている。…

下戸が大人と道路ですれ違うと、しりごみしながら草むらへ入り、話をする場合は、うずくまったり跪いたりし、両手を地につけ、恭順の態度を示す。